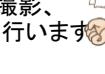
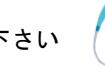


日付	外来	患者氏名		医師 看護師		薬剤師 管理栄養士		作業療法士 バス開始日	
		前日	手術日	術後1日目	術後2~4日目	術後5~7日目			
		/	手術前	手術後	/	/ ~ /	/ ~ /		
達成目標	術式を理解し、術後の流れや合併症の対応方法を確認できる	手術を受けられるように体調を整える手術後のリハビリを理解する	リラックスして安全に手術が受けられる	痛みが緩和され安楽に過ごすことができる	痛みがなく安楽に過ごすことができる				
点滴				手術中から点滴をします 	術後2日目に点滴を抜きます				
内服	普段の薬を確認します 	手術に支障がなければ、普段の薬を内服していただきます 眠れない方は睡眠剤を飲みます 便が出にくい方は下剤を飲みます		痛みや吐き気があれば、座薬や点滴で痛み止め・吐き気止めをします 内服できるようになれば痛み止めを飲んでいただきます	普段の薬を飲みます 手術後は、痛み止めの薬を飲みます 				痛みが続く場合には頓服で痛み止めを飲みます
処置			手術室に入る30分から1時間前に手術衣に着替えます 手術部位に印を付けます	酸素マスクを付けます (手術終了後~3時間) 腋の下にチューブが1本入っています	チューブを引っ張ったり、引っかけたりしないように注意して下さい				排液量が少なくなれば、チューブを抜きます
検査	血液検査、心電図、画像撮影、肺機能検査などの検査を行います 	身体計測・血圧測定 手術する腕の挙上を測定します							
検温		1回測ります 		帰室後、30分後、1時間後、2時間後、3時間後に測ります 	2回測ります 				1回測ります 
安静度		病院内で自由にして下さい 麻酔の説明を受けるまで、病棟外に行くときはナースステーションで行き先を伝え下さい		病室に帰ってきてから3時間後、看護師の見守りのもと歩行することができます (歩行できれば病棟内の移動は制限ありません)	動くときは、腋の下のチューブに気をつけて下さい				
清潔		手術前日はシャワー浴して下さい 			看護師が下半身シャワー浴をお手伝いします 				
排泄			手術室搬入時間の30分前にはトイレを済ませて下さい 午後からの手術で連絡待ちの方はナースが声をおかけします	手術後に尿管は抜きます トイレに行きたくなったら最初は看護師を呼んで下さい	トイレで排泄できます 				
食事		前日の夕食まで普通に食べられます 	朝から絶食です 	病室に帰ってきてから3時間後、看護師付き添いで水分を取ります ムセ込まなければ、夕食から食事ができます 多く摂取すると吐き気を催す事があるので、少量の摂取に止めて下さい	食事ができます 				
リハビリ					チューブが抜けるまでは、上肢挙上90度までの安静制限があります				退院日からプレストバンドを装着して運動を開始します 日常生活での運動制限はありません 退院前に上肢挙上の測定をします
その他	手術の必要物品を準備して下さい 看護師から入院中の生活と手術前後の経過についてお話しします リハビリについてのパンフレットをお渡しします 「手術を受けられる方へ」も読んで下さい	手術に関する同意書を病棟に預けていただきます 麻酔医より麻酔の説明があり、同意書を書いていただきます	手術に行く前は身につけている貴金属を外しておいて下さい (めがね、指輪、ピアス、義歯、マニキュアなど)	手術終了直後、医師より家族に手術の結果について説明があります 術後は下着の着用はしません					プレストバンドの装着期間は手術後2ヶ月間です 以後は、激しい運動もかまいません